

CLOSE TO YOU

- ニュースレター版 -

2015年11月号/No. 5

主の御名を賛美しま

す。

暖かい日が長く続いていましたが、11月中旬あたりから一気に冬が到来してきました。



私は最近、室内でもアウターとマフラーを手放すことができません…。その姿をみて、たくさんの方々に心配されます。(笑)中学生の頃は、コートを着て出かけるのが面倒で、真冬にジャージだけで外出したりしていたので、寒さには強い方だと思っていたのですが…関東に来てから、めっきり寒さに弱くなってしまいました。突然発症してしまった寒がりとうまく付き合いつつ、何とか名古屋の冬を乗り越えていきたいものです。

さて、毎回寒さの話をしていてもつまらないので(笑)、今回は最近私がハマっているものを皆さんにご紹介したいと思います。



私が最近ハマっているもの…それは、Pentatonix (ペントニック) というアメリカの5人組アカペラグループです。2011年にアメリカで結成され、動画サイトYouTubeを中心に活躍しています。少し前に朝の情報番組にもたくさん出ていたので、知っている方もいらっしゃるかもしれません。

彼らはクリスチャンではありませんが、クリスマス曲(賛美歌など)もカバーしており、その圧倒的な歌唱力と素晴らしいアレンジに、思わず涙しそうになりました。

クリスマスの時期には、伝道を目的として多くの教会でコンサートが開かれています。音楽には人の心に訴える特別な力があるな…と、彼らの音楽を聴いて心からそう思いました。

ちなみに、私のオススメ曲は「Joy To The World (もろびとこぞりて)」です。興味のある方は、ぜひYouTubeで検索してみてください^^

-11月の主なはたらき-

- 11/8 (日) 中高生礼拝 (司会)
- 11/14 (土) SPリハーサル (学び)
- 11/15 (日) 中高生礼拝 (司会)
Jキッズ礼拝 (小学科) お話
成長感謝式 (写真撮影)
- 11/23 (祝/月) 教団聖会@山口県下関市
- 11/29 (日) サンタクイズ大会 (司会)
※一部抜粋

11月からは、ほぼ毎回の中高生礼拝の司会を任されるようになりました。毎回どんなゲームをしようか、どんな賛美を歌おうか、試行錯誤しながら準備をしています。何かオススメのゲームがあれば、ぜひ教えてください！

11月のSPリハーサルは、14日に行いました。今月のテーマは「罪」について。



◀なぜ罪がうまれたのか? 最初の罪と、その後すべての人間はどうなってしまったのかを、アダムとエバの話から学びました。

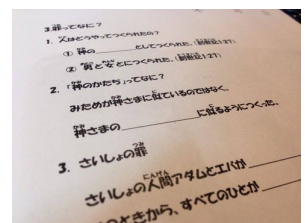
とても重いテーマでしたが、おともだちと一緒に、前回の神様のご性質の話とあわせて振り返りながら、罪の根源の話と、自分とのつながりを確認することができました。

私自身、学びの準備をしながら罪がどれだけ忌み嫌われるべきものなのかを、改めて突きつけられました。

最後は、ヨハネ3:16「小聖書」の箇所から、神様は滅びではなく、いのちに生きることを心から願っておられるということを確認しました。

次回は12月5日(土)、「罪のゆるし」について学びます。

written by manyamo



次の日の11月15日

には、0歳から小学生までのおともだちの成長感謝式を行いました。

私は写真撮影の奉仕をさせていただいたのですが、神様が一人一人を導き、成長させて

くださっているんだなあと思うと、なんだか胸がとて熱くなりました。家族って…いいですね。



そして、11月23日は教団聖会に山口県まで

行ってきました。私は前日から新幹線で山口県に向かい、教会員の方とホテルに前泊してから、聖会に参加しました。

◀会場の山の田福音教会。この逆三角形の講壇は、「牧師が頂点ではなく、むしろその逆で互いに支え合い、助け合う」という意味があるそうです。



今年は「三浦綾子文学に学ぶ信仰」について

学びました。講師には北海道旭川市にある「三浦綾子記念文学館」の特別研究員である森下辰衛先生にお越しいただき、『塩狩峠』と『泥流地帯』の作品から、三浦綾子さんがどういう経緯や思いでこれらの作品を仕上げたのかを読み解いていただきました。

お恥ずかしい話ですが、私は北海道出身にも関わらず、三浦綾子さんの作品を『氷点』と『塩狩峠』しか読んでことがありません。しかし今回の講演を聞いて、ただストーリーが興味深いだけでなく、そのひとつひとつの言動や情景に深い意味と三浦綾子さんの信仰、そして神様の愛が現されていることを知り、もっと三浦綾子さんの作品を読んでみたくくなりました。

聖会後は教団が日本で一番最初に開拓を始めた「萩田床山キリスト教会」の代表を務めている岡野兄姉のお宅にお邪魔し、宿泊もさせていただきました。

萩田床山キリスト教会は、開拓当初から牧師不在の教会です。岡野兄は銀行マンをしながら、奥様は市役所で働きながら教会を支え続けました。

平日は仕事をしながら、日曜日には毎週メッセージを語る生活が時には辛く苦しいこともあったのですが、それでも続けることができたのは、

神様にいつも励まされ続けたからだと話していただきました。



◀2日間お世話になった岡野雅治兄と紀久美姉。

(最近世界遺産に登録され、話題になった萩反射炉の前で)

私は結局9ヶ月ほどしか社会人生活を経験していませんが、その間奉仕どころか教会生活もやっとの状態でした。仕事をしながら礼拝を捧げ、奉仕をしていくことがどれほど大変なことなのかをそこで初めて知りました。

そんな生活を長年欠かさずやってこられたのかと思うと、本当に頭が下がります。

岡野兄姉との交わりを通して、「神様を第一にしていく姿勢」を教えられた気がします。改めて襟を正す思われる思いです。

次の日は萩田床山キリスト教会に足を運び、観光にも連れ出してくださいました。



◀教会の講壇。設計上講壇はそれなりの高さが必要だったそうですが、上から説教を語るのを避けるべく、講壇をなるべく低くしてもらったそうです。

萩といえば、吉田松陰の街。今ちょうどNHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台となっているのもあり、街は観光客で賑わっていました。



◀松下村塾。実は隠れ歴女の私は、ここに本当に吉田松陰がいたのかと思うと本当にワクワクしてしまいました。



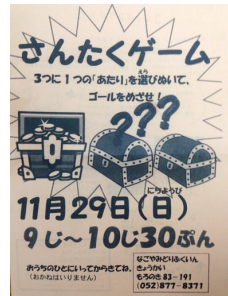
◀萩博物館にも行ってきました。幕末に長州藩から秘密留学した、憧れの長州ファイブとも写真を撮りました！

今回の訪問で、いつか緑福音教会のおともだちと、夏休みや冬休みを利用して、教団の教会を巡るミッショントリップができたらいいな…とふと思いつきました。現状は難しいかもしれませんが、これから祈りにおぼえていきたいと思います。

written by manyamo

11月29日には、今月のイベント「サンタクゲーム大会」がありました。

私は今回も司会の奉仕をさせていただきます。



◀久しぶりにしっぽとりをやってみました～大人vs中高生のガチ勝負がとて熱かったです。



◀じゃんけんをして勝つとシールを貼られるゲームもしました。中にはゲームが終わっても一日中顔にシールを貼っていた子も…。(笑)

今回のお話は、ザカリヤへのお告げから、主の道を備えるヨハネの誕生のお話でした。

人はみな罪故に牢屋に入れられるべきなのにも関わらず、それを全て赦し、代わりに背負ってくださるイエス様がもうすぐこの世に来られることを学びました。

そしてお待ちかねのイベント！

今回は、久しぶりに食べ物系ではなくブースを回ってクリアするサンタクゲーム大会をしました。

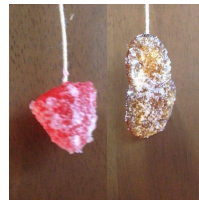
ブースを担当するスタッフが、それぞれ三択のゲームを考案します。

私が考えたのは…糸ひき飴ブースです。



◀昔懐かし糸引き飴。昔祖母と遊んだひもくじの思い出が忘れられず、名古屋の駄菓子屋商店街・明道町まで行って購入してきました。(笑)

糸引き飴には、当たりとハズレが存在します。(私もwikipediaをみて初めて知りました。)



◀左の逆三角形の方がハズレ、右の少し大きめの楕円形の方が当たりです。おともだちは、左の当たり飴を目指してくじを引いていきます。

参加するおともだちは、それぞれブースを回って当たりが出ればサインをもらうことができ、全部で5つサインをもらえるとゴールです。



私のブースはハズレを引く度に糸引き飴が増えていくので、最後の方はみんな口から大量に糸を出してくじをひき続けるという異様な光景に…。(笑)



◀中高生ブースでは、誰に激辛シュークリームが当たったのかをおともだちに当ててもらおうロシアンシュークリームをやっていました。中には、4回も激辛シュークリームが当たってしまった中高生もいたとか…。(笑)

今回は時期的な問題もあり、たくさん新しいおともだちが来てくれた！というわけではありませんでしたが、いつも来ている中高生が活躍してくれたり、何よりも準備している自分自身がワクワクしたイベントとなりました。

来月は12月13日(日)に、子どもだけではなく、ファミリー向けのクリスマススイーツパーティーをする予定です。

-12月の予定-

12/5(土) SPリハーサル

12/6(日) 中高生礼拝司会

12/13(日) 中高生礼拝司会/スイーツパーティーお話

12/20(日) 中高生礼拝司会

一般礼拝証し

クリスマス祝会司会

12/27(日) 中高生礼拝司会/中高生イベント(午後)

12/28~1/8 冬季休暇

スタッフとして赴任してから半年が経過し、いよいよ12月21日より正規採用になります。今までのことを振り返りつつ、これからも前を向いて働いていきたいと思います。

written by manyamo